

こくりにゆうだよ



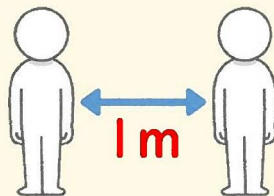
大阪府立桜塚高等学校 3年 八面 那季

「今月もがんばりましょう!」



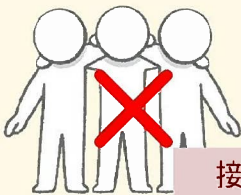
マスクの着用

ソーシャルディスタンス



手洗い・消毒

つづけよう、感染予防と対策。



接触を減らそう



換気



「みんな、ひさしぶり！」～協会事業再開にむけての流れ～

にほんご交流活動

(もっともつつかえるにほんご、千里にほんご、とよなかこほんご木ひる、とよなかこほんご金あさ、にちようがちゃがちゃだん)

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染拡大を受け、2月より活動が中止になっていた『にほんご交流活動』ですが、6月1日のセンターの開館をうけて、各活動でも事業再開に向けたミーティングを行っています。

現在、センターでは各部屋の定員を通常の半以下に制限しており、人と人の距離を1～2メートル以上あけることなど、多くをお願いをしています。どの活動もコロナ以前におこなっていた活動にはなかなか戻りません。

そんな中ですが、それぞれの活動のスタイルや参加人数などを考慮しながら、なんとか再開できるように知恵を絞りながら、活動再開を目指しています。

木ひる (毎週木曜日の13:30から) は6月12日から、もっともつつかえるにほんご (月曜日10:00から) は7月6日からなど、活動を再開したり、再開が決定している活動もあります。また、自主グループの活動も、日本語交流サロン (金曜日19:30から) は6月19日から、にほんごぼちぼち (土曜日10:30から) は6月13日から活動を再開しています。ほかの活動も再開が決まり次第、ホームページやFacebook、こくりゅうだよりなどで随時お知らせしていきます。(協会職員・黒島トーマス友基)



再開に向けたもっともつのミーティングの様子

若者支援事業(わかものたまりば)

外国にルーツをもつ若者を対象とした「たまりば」の活動では、新型コロナウイルス対策のためセンターでの活動ができなくなっていた期間、Zoomを利用した「オンラインたまりば」を開催しました。通常の活動日である日曜日の夕方に時間設定をし、自宅からパソコンやスマートフォンの画面を通じて「たまりば」に参加するというのも新鮮でした。コロナ禍でのそれぞれの生活の変化(学校やアルバイトのことなど)や、自粛生活中にハマっていること(ドラマやマスク作りなど)についてなど、いつもの活動のように話は尽きませんでした。



ソーシャルディスタンス UNOをしている様子



6月14日からは、センターでの活動も再開しました。久しぶりに直接会って話をできる嬉しさをかみしめながら、ソーシャルディスタンスを守ってUNOをやりました(大盛況でした)。

今後も感染症対策をしっかりと行いながら、活動を続けていきたいと思っています。

(協会職員・山根絵美)

日本で暮らす移住者の貧困(移住連ブックレット4)

／(移住労働者と連帯する全国ネットワーク 編集)

大学の退学届を「経済的事由により」と出してから、とりあえず生きつつ、社会へのかかわりを模索していた。私が84頁ほどの、この小さな本と出会ったのは、そんなときでした。

貧困や労働、生きづらさなどをキーワードにしながらか…。けれど、私自身にとって欠かせないモノが足りてないような…。「マイノリティの問題」と片づけられるのもちがう…。そんなときに、この小さな本を手にして、ひとつの軸を見いだせたような心象が残っています。

刊行されて来年で10年。提起された内容は、残念ながら古びていません。「いま、世の中でたくさんでている課題」としても。「内心、ほんとうは悩んでいる問題」としても。背景をふりかえる参考に、なるかもしれません。(多言語相談サービス相談員・ラポルテ雅樹)



協会事業（哲学カフェ、プロジェクト“まんがふえ”等）に参加していた辻明典さんが、2013年度より故郷である福島県南相馬市に戻り、教員をしています。辻さんからの福島からの便りをどうぞ。

会うことや、触れ合うことさえも、慎むことを求められるなかで、気は疲れ、ときには病むような思いで過ごされている方たちも、きっとおられることと想像しています（大阪なら、なおのことそうでしょう）。そして、人と人が触れ合わず、距離を取ることが、道徳とすり替わってしまはいはないかと、心配もしています。人と会い、話すという行為は、尊いし、単純に素晴らしいものだと思っているから、なおのこと気にかかっています。

僕が今住んでいる町は、とても都会とはいえませんし、少し自転車を走らせれば田園が広がっているばかりなので、何気なく出歩いたとしても、すれ違う人は、新型コロナウイルスが広がる前から、ほとんどおりません。とは言っても、どこの誰が感染して、どこの店に買い物に出かけていて、普段の仕事は何で…といった類の噂話はあつという間に、根拠すら危ういままに広がっていくので、そういった雰囲気にはほとんど嫌気がさしています。

そんな窮屈な、穴蔵のような暮らしのなかで、僕はといえば、「手を使う」作業が無性にやりたくなりまして、何を思い立ったのか、5月の連休中は味噌作りに精を出しました（家の中を片付けていたら、たまたま味噌樽が見つかったということもあるのですけれど）。升と秤で量を確認し、大豆はすり鉢で潰しました。麴も温度に気をつけながらの手作りです（出来上がったばかりの麴は、栗の香りがします）。大豆と麴に、更に塩を混ぜ合わせると、柔らかくなっていく感触が、手触りでわかります。ついでに、昆布も味噌の中に仕込みました。

新型コロナウイルスの影響で人と会う機会がめっきり減ってしまうとともに、身体全体で感じることを無性に欲するようになりまして、それは生理的といってもいいような感覚だったので、思い返してもとても不思議です。そういえば、少し昔の人たちは、暮らしのなかで必要不可欠な、衣食住に関わる物を、自分たちで賄ってきたはずで。そしてそれは、暮らしや文化の根っことも言えるのではないかと、思わずにはいられません。そうであったのに、僕たちはいつのまにかお金を払って得るサービスに依存するばかりになり、単なる「消費者」になってしまった。確かに便利にはなったけれど、身体全体を使って、感じ、味わうことを、いつの間にか忘れてしまったような気がしてなりません。

なんだか尻切れとんぼのような気がしないでもありませんが、結局のところ、身体全体で感じることは、やっぱり大切だと思います。早くこのコロナ禍が落ち着き、安心して人と語り合える時間が戻ってくることを、切に願っています。

2020 7月の事業開催カレンダー

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
29	30	01 休館日	02 木ひる 相談	03 相談	04 相談	05 貸室利用抽選会 目的利用：～10月末まで 一般利用：～9月末まで
06 もつと 相談	07 相談	08 休館日	09 木ひる 相談	10 相談	11 つと 相談	12 サンプル ※13-14時 若者
13 もつと 相談	14 相談	15 休館日	16 木ひる 相談	17 相談	18 相談	19 サンプル ※13-14時 若者
20 もつと 相談	21 相談	22 休館日	23 木ひる 相談	24 相談	25 相談	26 若者
27 もつと 相談	28 相談	29 休館日	30 木ひる 相談	31 相談	 <p>上記の協会事業の実施については、とよなか国際交流協会へお問い合わせください。</p>	

はじめに、新型コロナウイルスに罹患された方々とご家族のみなさまに心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い回復をお祈り申し上げます。また、感染拡大防止や治療などに日々ご尽力されている保健機関、医療従事者の皆様、さらに様々な形で社会を支えてくださっているみなさまに深く敬意を表し、感謝申し上げます。

この半年ほどでセンターを取り巻く状況、というよりも世界は大きく変わりました。激変する中でどうやって暮らすか、どうやって生きるかが突き付けられました。このセンターもどうやって地域に暮らす外国人に安心や安全を届けるか、問われましたし、今も真ただ中で問われています。

センターでは2月3日に災害時多言語情報支援センターを設置しました。感染予防対策や生活支援制度に関する多言語情報の発信のほか、相談事業を拡大して行いました。インターネットの強さを実感した一方で、多くの事業が休みになる中、改めて、直接つながることの安心感、安定感を痛感しました。

今後は三密の回避など、感染防止対策とともにセンターの運営、多文化共生のまちづくりの取組を進めていきます。既にこれまで通りとはならないことだらけですが、「できる／できない」の二択ではなく、「どうすれば、どこまで、危険を回避しながら進められるか」、みなさんと共にアイデアを出し合いながら進めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

とよなか国際交流協会 事務局長 山野上隆史

センターが主催する定例事業

月曜日…  ももっともつかえるにほんご ※ひらがな・かたかなが書ける人が対象  外国人のための多言語相談	10:00～12:00 11:00～16:00
火曜日…  おやこでにほんご (千里・岡町・庄内の各図書館で実施)  外国人のための多言語相談	10:00～12:00 11:00～16:00
木曜日…  とよなかにほんご・木ひる  多文化こども保育にこにこ  千里にほんご(千里文化センターコラボで実施)  外国人のための多言語相談	13:30～15:20 13:30～15:30 10:00～11:30 11:00～16:00
金曜日…  とよなかにほんご・金あさ  多文化こども保育にこにこ  外国人のための多言語相談	10:30～12:00 10:30～12:00 11:00～16:00
土曜日…  韓国・朝鮮のこぼとあそびのつとひ ※毎月第3土曜日のみ  外国人のための多言語相談	9:30～11:30 13:00～16:00
日曜日…  にちようがちゃがちゃだん  こども母語※第2,4日曜日のみ  学習支援サンプレイス 若者のたまりば	10:00～12:00 10:00～12:00 13:00～15:00 17:00～20:00

場所の記載のないものはとよなか国際交流センターで実施しています。
定例事業の参加についてはとよなか国際交流協会にお問い合わせください。

今月のピックアップ

世界のおばけやしき2020
中止のおしらせ

今年8月に3回目の開催を予定していた「世界のおばけやしき」ですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止とさせていただきます。

毎年大勢の来場者でにぎわっていたイベントが中止になるのは残念ですが、今年出たアイデアを活かして、来年に向けて準備をしていきたいと思っています。



とよなか国際交流センターおしらせ
「こくりゆうだより」第135号(2020年7月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会
住所:〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F
(阪急宝塚線豊中駅すぐ)
開館時間:9:00～21:30(貸室受付は20:00まで、水曜休館)
TEL: 06-6843-4343 FAX:06-6843-4375
E-Mail: atoms@a.zaq.jp WEB: http://www.a-atoms.info/

多言語情報も配信しています!

SNSも随時更新中!

「とよなか国際交流センター」で検索!

